

感染症に気をつけよう!

2022年【11月号】



横浜市内の感染症 流行状況

10月31日
発行

感染症*	流行状況		説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
新型コロナウイルス感染症*	大流行	横ばい	10代を始めとする若い世代を中心に、幅広い年齢層での感染がみられます。【'22.10号】
梅毒**	発生	横ばい	梅毒などの性感染症は、報告数が比較的多い状況が継続中です。【 ちらし 】【 無料・匿名検査 】

国立感染症研究所*

厚生労働省**

横浜市衛生研究所【感染症情報センター】

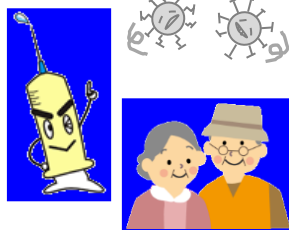
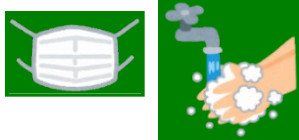
今、気をつけたい感染症 同時流行!!



この冬は **新型コロナウイルス感染症** の感染拡大が今年の夏を上回り、
加えて **インフルエンザ**** も 同時に流行する可能性** があります!

基本的な予防対策は同じです。
感染(飛沫感染・接触感染)の経路を断つために、引き続き
咳エチケット** や
こまめな手洗い** を
しっかり行いましょう!

免疫力が弱っていると感染しやすくなります。
十分な睡眠とバランスの良い食事を心がけ、
免疫力を高めて
おきましょう!



新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンは、
同時に接種することも可能** です。
ワクチン接種について、
かかりつけ医に相談しましょう!
横浜市では、令和4年12月31日まで
高齢者インフルエンザ予防接種 を実施しています。



参考リンク: 横浜市保健所

【[新型コロナウイルス感染症に関する情報について](#)】

【[新型コロナウイルスワクチン接種について](#)】